

No. **70** あごら丸隈通信社 通信担当
 細田 英理子 後藤 晶子
 tel. 644-2927 tel. 871-3810

— 今月のなかみ —

例会報告	— 1 —	ピコ405	— 5 —
例会案内	— 2 —	私が読んだ本	
私とあごらNo.18	— 3 —	「スウェーデンの夜談」	— 6 —
カレージ・フェスティバル		既見考 No.18	— 7 —
参加しよ	— 4 —	情報	— 8 —

あごら89号 "均等・平等・保護"

— 私の中の平等・保護 —

まず、出席者が6人と非常に少なかつた事は残念だったが、私自身レポーターとして、何度も読みなと頭に入らないぐらい、私達の今の現状と、この均等法とは何しているのとはなにかというのが、偽らざる実感である。

まず、生体については、ほとんどの人は生体があつても事実上とれない現状である。とる人も生体をとらず、有体としていくというのが例会出席者の感想であつた。大企業でしかも、衆な職業観を持つている人が生体と雇用して、いたげな人には生体も与えられていない現実の差別がある中で、果して均等法とは何とものたらんのか。

女性にとり、年齢や子位や夫の有無にかかわらず、職業の選択ができるというのが、雇用均等法の一着のメリットであつたのが、入口差別

が努力義務となり、名前も均等法と変わった今、

この法律の恩恵を受けられる人は現実にどの程度に属しているか、大企業に属しているかの一部エリート女性、しかも体力に自信があり、男並に働きたいという人であろう。現実に低賃金で一家を支えている女性にも何れもメリットがないところか、ますます、残業が増えれば、残業拒否とすると簡単に解雇されるであろう。

次に、どうして労働市場がこんなに差別的なのに日本人は我慢していらぬのか、という話になった。人間としての権利意識が低いというのはもつともである、考える教育をしなければ国民の政治意識は育ていかないのはスウェーデンの例が示している。職能別組合がないから、労働者は会社ごとの組合に分断されて、他の労働者までと思ひやらない、労働者自身がヒンな働きかたをしたいの



かをツきつめていた。日本の労働者は牛馬に働くといふことができた。一人一人が一匹狼的に企業に肩こして、忠誠をつくしているのだ。自分が人権を引きつて人がいふことは、人権を守らねばならないことだろうか。この問題では白熱した意見がいろいろと出ました。

この現状(社会であり、人間であり)を変えすに法律と変えす。役に立つは可かたないと思いたがらも、この法律が施行されたらの変更感に乏しい。私も含めた多くの人に。——政治意識と教育の重要性と強く感じた。

(佐藤 陽子記)



11月13日(火) pm. 6:30~9:00
喫茶 3F 2F 中央区南4面1
(徳目ヒルの並び、南西角) tel 231-7627

「あこら89号『均等・平等・保護』読書会 Part 2」
結果の平等・機会の平等とよく対照して読みあかす?
「結果の平等と機会の均等」など 読んでみる! 下さい。
シホ-7-17 くらみとろ。

紙が余り過ぎてみともない。こめんない。原稿をかけるの? 本とコピーする。
ひんかかっていること——トルコぶろ? 名称の問題しかヒソあげられないのか?

わが国は昭和三十一年五月に売春防止法を成立させ、徳川時代から存続していた公娼制度を廃止した。公娼制度は女性の性を商品として扱い、売春を強要するところに女性への人権侵害があるのだが、公娼制度は勢い売春婦の人身売買、人身拘束を伴ったから、この面からも女性の人権が侵害され続けてきた。従って婦人問題としては、まっ先に手をつけねばならない分野であったし、長期間の廃娼運動が実を結んで、売春防止法が成立した結果、わが国では公娼制度は姿を消したはずであった。

ところが、昭和四十五年ごろからほつほつトルコぶろが営業を始め、昭和五十四年には全国で千四百八十六軒、トルコ嬢は一万八千四百五十七人となり、トルコぶろで公然と売春が行われている実体がある、といわれている。

女性にとって性を商品とされるほどの屈辱はまたないだろう。薄野からトルコぶろが消えうせる日を私は待ち望むが、それまでの間、取り締まりがもつと厳重になってもよいと思う。



手繰 良子

私

と
あ
ご
ら

No.18

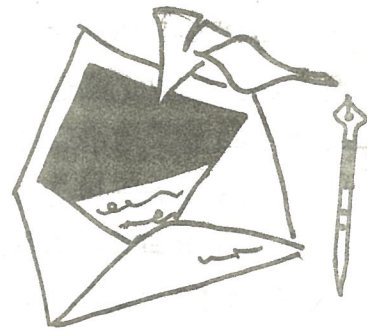
あごらはいろいろな人がいろいろな主張をのべあう事は大変良いと思う。しかし単に意見を述べあうサロンにはなつて欲しくない。

やはり事と次第によっては「行動するあごら」でもあつてほしいと強く思う。

さて、今の私の課題はどうしたら「われあい」と家事を分かち合えるかという事。子どももない二人赤子の家事分担の難さを思っています。

最近読んで考えさせられた本は、「働きながら親を見る」沖藤典子著(学陽書房)皆工と論じたいと思っています。

首を長くしてあごらを待つ読者を、ちねかりおぼえていて下さる。よろしく。



数年前、出札して友人(あごら札幌のM.エミル)と会い、何気なく出席したのが、あごらの確か、在界の軍事力に関する学習会でありました。

スプリングのこわれている椅子に座り、すき間風にあたるながら鏡々と出てくる分厚い資料や在界地図に、「チカチカヤル」という感想をもちました。

私は遠く道東の根室に住んでいます。

職業は保育で、勤続十四年目。私

自身、婦人運動に携わったり、いろいろな会にも参加したりしていますが、「あごら」はちねと趣きが変わっていて好きです。(もし札幌にいれば「一緒にやりたい」といふ人だけだ)。

小樽での全国運営会議には出席できなかったのだけれど、家族旅行(とはいっても連れあいと二人だけ)と日程が重なったため、断念しました。

今は一読者ですが、機会があれば、参加したいと思っています。

★ Garage Festival に参加して.

空け青く澄みわたりの日も暑い10月10日。8号倉庫で「ガレージフェスティバル」があった。フリーマーケットといって、タタミ1帖分500円の席料を払うと誰でも店主になれる。「あごら」も、文庫の活動で忙しさを増している細谷さんと通院中(星の生ツメとばかりして靴がはけない)の今村さんが種落って出店。

11時ごろ会場へつくとムンムンおぼれの人々。押しあ、押しあ、下の子ども抱きバネにくりつけー巡し、新品の帽子2つと600円、お古のサロペットと50円で買う。デパートの特売場で安くてもいいものを置いといて、あの何とも言えない快感と久々に味わう。上の子どもたちも目当てのもののあたりなし、1回100円の小じとひいて楽しそう。おまけに細谷さんの未来姉さんにシールを買ってもらって大喜び。ところで「あごら店」もにぎわっているかという。入口近くの比較的良い場所なのに素通りか、たまたま本と手にする人がいても「いくらですか」「定価です」「...高ーい」



と結局21号、子と母の関係を問う」が一冊売れたにすぎなかったとか。

フェスティバルのパンフに、「ツマンタイ本はキツくないよ。アッハッ」とあったけれど1冊しか売れなかった「あごら」はツマンタイ本ののだろうか。軽薄短小がうける昨今。このとれひとつにもあてはまらないあごら本誌。加えて10〜500円くらいのものが沢山ある中で正価1800円とかになるとウマンというこじになるのだろうか。小さくて薄い「あごらミニ」も最近では「月刊あごら」となってる300円。寝ころからして読みにくくは少し堅い。くり抜く必要なくしては「おもしろさ」は中からない。たけいとおもしろさかかかると付録、つくはる人はい少ない。

8月に1冊を閉かいた、全国運営会議でここが一番の難問だったように思う。売れぬ→広げない→赤字で今にもつぶれそう。この難問と何か打開は、いかに。これからあごらにかかっている。(高橋茅思)



編集委員会から

月刊あごら12号の編集作業がすすんでいる。青藤千代さんをはじめ運営委出席者の原稿とのせ、その間にかねメンバーの座談会とのせもついでにいます。今からでも編集作業に関心のある人連絡してください。

ピノコが卒業し、結婚してはや半年。
今も時々ピノコのことに考える。特にあひらの
会の運営と考える時がしばしば。

ここであらためて紹介すると、ピノコが私
たちに残してくれたものが二つあって、一つは
彼女の好医学生のカークル「あひらの会」で、
もう一つは全国女子医学生の会なのである。
あひらの会はおもむくから週一度の創
会を怠らず、月一度の会誌もそれな
りに発行されている。が、運営面では
ピノコのいたころとずいぶん変わって
いるように思う。毎回無反省に
創会をやっていたころは選んで、
腹道、感想を必ず運営に
ノートバックとかけるよう
にし、例会中もつねに若手に
話してもらおうという意識ができていた。
ただやはり、「生活とだいに、男も
女も人間らしく自分らしく生きたい」
という願いをもとに話していることは同じ
である。結局、「やり方、方法」は多少うまくなら
ないかもしれないが、「中身」を見つけたし、形
にたピノコのあとをたどっている。読書量考
えもさほど進んでいるとは思えない。

女子医学生の場合は毎年事務局交替期に危
機を迎えつつ、新人、新大学がしだいに育っ
てきている。こちらは例年ならおぼつかかり、
全国組織だから影響も大きい。ほろほろと
通信を唯一の活動にしているが、200名ほど
にも会量が増えたと、会量の把握だけでも大変。
組織のうちにはアマチュアでもできたが、今後
いっそうの発展のために、運営委員を全国か

らつめることにした。世代交代は激しく、選挙
のメンバーは二代、三代目くらいにもなっ
ている。

二つの好医学生のカークルに聞くと、思っ
たより、人との出合いの場、人間関係と調整の能
力と身につける場としての集団の重要さと、同
時に女子医学生が抱えている思いの大きさを

す。確かにピノコと初めは同輩下
ちのおかげでできたあひらの会であり
女子医学生のカークルはあひらの会であるが、もはや彼
れたちは歴史上の(3)人物で、自分が
持っている思いの深さゆえに出してきた人
たちが今会を支えている。人が変わ
ればやることもやり方も変わらねば

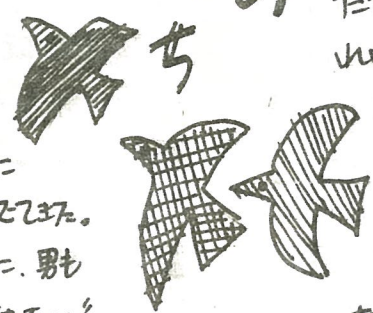
あけがさきうけつがはれていくこ
とで進歩もする。その中でまた
やめている人自身も進歩しゆく。
ピノコはよく考えてつづけたのか
な?

先日ピノコのころへ遊びに行った時は、私
と教養一年と前には、研修生活のこととせ
えきたように話してくれた。とても忙しく、世
間一般の「夫婦」にはたがはず、彼と学ばず
時代から話があつてはまった。あひらで考
えていたことは重要だ、と話していた。

おそく、あひらも彼女にとつてはそういう場
だったのたう。だが、私にとつては、みんなのつ
りつめた思いを受けようとするだけではない、
よいで、そこから創造的に考えざるを得ない
ゆえに、いかにするのだ。タメイキつきつつ、やは
り今度も例会に出られず、そのことが残念とわ
つかない中途半端な気分である。(後藤記)

ピノコの

のち



北政. 特ヒスウェーデンは. 女性とヒ
 何カ画期的な制度と持っているらしい
 という漢然とした思いをヒ持っている。しかし
 この本を讀んで. スウェーデンのこの制度は.
 それが出てくる十分なだけの条件(平等意
 識. 雇用. 社会保障など)がなくてはならぬ
 はまってきたものだと感じている。

本書は 結婚と雇用を中心に. スウェー
 デン社会がもつ制度. 意識. 家族の紹介と
 したものである。スウェーデンでは. 女性が
 働くのはごく当然である。これに. かなりの部
 分. 社会保障制度がいきまといふたもの
 ようだ。女たちは保育所に子どもをあずけた。
 各種サービスと利用する一方. 社会保障の場
 働く。初めは男働きの不足にたじて働き
 だした女性たちも. 働く女性が増えるにつれ.
 他分野へ進出しはめている。年金制度も
 働くほど有利になるし. 一日労働時間の短
 縮. 育児有給休暇制度. 平等なブツマン
 などの制度も整えられた。

これと同時に大きく変わったのは 結婚と
 ある。当初の課税制度が共働き家庭に
 厳しかったために. 形だけ協議離婚のお家
 庭が増えた。あつて政府は. 税制を
 “婚姻”の概念をなくし. 共働き家庭にも平



スウェーデンの東洋
 人間社会はどこへ行くのか
 竹崎 敬 講義を現代
 新書
 420-

“事更婚”
 (同権)がみつ
 のことについて
 打ちつた。その結果. 結婚も
 離婚も金的なことでない。当人たち以外
 には影響を及ぼさない。離婚も女性も働けるし.
 社会保障もあるために. 特別な経済的保護も
 ない。

私の結婚観—— 平等な個人の私的契約
 ——が形になっていることが多くもあり. 驚き
 でもあった。私は結婚しても働きたい. 働き
 ながら結婚したいと思つている。しかし. それに
 はまず経済と分ちがたく結びついている結婚を
 変えなければならぬとあつた。結婚は. 性
 別役割を肯定し. 働くための労働条件悪化を
 補償している。もし. 結婚おしなれば. 労働の
 評価は変わる。だからこそ. 社会はいろいろ
 “結婚”とその構成に決断するのではない
 か。私がそういう結婚をけくなふと思つ時. 自
 分が働き. パートも家事をするという関係をつ
 くるという個人的解決だけでは足りない。結
 婚しようがしめが労働には影響がでない労働条
 件であること. 同時に女性に好し雇用かひら
 ぬ. 平等に働けること. 女性が働くことがみつ
 ること. これをひきいて結婚は経済関係の
 ら解放され. 単なる人間関係になるのではない
 こう考へて. おやく“平等法”を身に考へてお
 1872.

気になることの
2つめ。

長期的に見た場合、
ボランティアが関わるこ
とによって、現状よりも
より良い未来に近づける
のかどうか。



託児ボランティアについて 気になること <その2>

このようにおられる民間の学習会にも仲
介するということだが、逆にボランティアに
なり手がなくなったらどうなるのか。託
児の縮小あるいは廃止につながる
のではないだろうか。

現在、勤労女性の6割が専業主婦と
いう時代であり、今後、女性の就業は更
にすすむと思われる。そういう時代に、
家庭にいる女たちとあそびにしたボラン
ティアを、社会復帰のために活用し、
やはり明るく積極的な社会、合理化
を促すのだと思えばいい。

(細谷洋子 記)

現状のセンター主催事業の託児には、
2才以上という制限がある。また、主催事業
以外の、センターを会場にして行われる催しや
学習会の託児に対する援助は、託児室の
無料提供以外一切ない。そうした現状に
おける限界を越えていくための力としてボラン
ティアの協力があるのなら、より良い未
来に近づけるのかもわからない。

しかし、このボランティア委託は、年齢
制限等、現在主催事業の際に行われ
る託児とそのままボラン
ティアに委託するものである。

将来的に、ボランティア
の人数も増え、

<本係より!>

あごらの赤字解消の
ためにも本誌や月刊あご
らと人にすすめてください。図書館に
も購入希望カードを出しましょう!

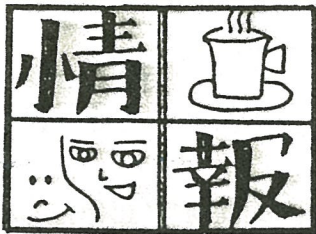
●「自立の心理学」再入荷! ¥1,800-

細谷さんが通信No.69「私の読んだ本」コーナーでも 11218よう
になかなかおもしろい本です。

●あごら30号(89号)「均等・平等・保護」¥1,600-

在庫がたぐさみあります。これ一冊あれば 雇用平等法問題のすべて
がわかります。更に新しいことと知りたければ月刊あごら90.88.87号等
(350円)も読んで下さい。

◎欲しい人は細田まで連絡を!



映画 海盜り 同時上映 原発切板帖

11月 6.7.8日 札幌市教養文化会館

海盜り 12:30~ 16:00~ 19:00~

原発切板帖 14:30~ 18:00~

懷妊問題と考えるために……

第5回札幌秋期市民大学

11月16日(金) 18:00~ 石狩会館5F会議室

「核戦争後の地球より」

小笠原正己 NHKチーフリポーター

11月28日(水) 18:00~ 石狩会館5F会議室

「田中角栄と放射線廃棄物」

色川大吉 東京経済大学教授

再審問題と考える市民の集い——

免田事件一億人の白白調査から

11月9日(金) 18:00~21:00

北海道自治労会館 入場無料

免田栄氏 (免田事件元被告)

梅田義光氏 (梅田事件被告)

佐伯仁弁士 (免田事件担当)

試験管のむこうに何が見えるか……

—— 遺伝子操作と考える 福本英子さんとお招きし ——

11月23日(金) 13:00~

主催 優生保護法改悪を阻止し、

中央区民センター。託児あり。

法の徹底をめざす会

4千円 500円。細田まで

今、体外受精の問題が脚光をあびていますが、優生保護法改悪の問題にとりくんできた阻止連(今は名を改めめざす会)では、優生思想と深くかかわる、この遺伝子治療、遺伝子操作の問題について考えたいと思います。講師は「危機の遺伝子」「複製人間の恐怖」等と書いている福本英子さん。是非参加してください。



あしがき

あごらみカッチャしている同じ週に、あひるたほびとの原稿、フラスコの原稿、おまけにゼミのシメ、学校の課題……いつも何かに進んでいる感じがして、考える時間は無理なのかとつくもません。セマで物を考えないよりはいいかもしれないけど……

“どんなことにも自分のフラスコに溶かしてしまえば、何か得るものはあるものだ”という友人の言葉に励まされ、今日も努力!

—— ♪ ——